

フォト

行事から



生徒募集定員を発表

— 全日制高校は二四、〇二五人

県教育委員会では、十一月十三日、佐藤昌志教育長が記者会見し、昭和六十一年度県立高等学校生徒募集定員について発表しました。



▲募集定員を発表する佐藤教育長

発表された主な内容は次のとおりです。

◎基本方針

①中学校卒業予定者数や志願の動向を考慮、収容率の適正化を図る。②進学率向上のため学級増と暫定増の措置を講じる。③公立の募集定員比は、おおむね現状を維持する。④定時制課程は地域の実態を考慮する。⑤学校・学科の配置については、時代の変化に対応して適正に配置する等の方針とし、次のとおり募集定員を決定した。

◎募集定員

全日制 二四、〇二五人

定時制 五八〇人

通信制 五五〇人

専攻科 三〇人

全日制においては、来春の中卒見込み者が増加する県北、県中、いわき三地区の二十八校、二百四十学級、四百八十人の暫定増措置をとったほか、福島商業、保原、平工業の三校で一学級ずつの学級増を行い、棚倉、小野、会津農林、田島の四校で一学級ずつ学級減を行った。

一方、産業構造の変化や技術革新に伴い、福島農蚕の農蚕科を食品化学科に、会津工業の工芸科、窯業科をそれぞれインテリア科、セラミック科に、また喜多方商業の事務科を商業科に学科転換した。

定時制においては、福島中央を一学級減とし、会津中央農業科の募集を停止した。

市町村教育長研修会であいさつする太田会長

市町村教育長研修会開催

去る十一月七・八日の両日、福島市の「あづま荘」において、市町村教委教育長研修会が行われた。

参加九十名の教育長は、当面する教育行政施策の基本問題や活性化、生涯教育の推進等について研修された。

